



平成 24 年 2 月 17 日

各 位

会 社 名 大同工業株式会社  
代表者名 取締役社長 新家康三  
(コード番号 6373)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 平野信一  
(TEL. 0761-72-1234)

## 第 9 次中期経営計画策定に関するお知らせ

大同工業株式会社および当社グループ各社は、2012～2014 年度を計画対象期間とする第 9 次中期経営計画を策定いたしましたので、その概略についてお知らせいたします。

記

### I. 第 9 次中期経営計画の目指す姿

アジアなど成長市場の需要を取り込むため、第 8 次中期経営計画（2009～2011 年）で推進したグローバル事業体制をさらに加速させ、二輪・四輪用製品の海外生産の更なる拡大、海外拠点の R & D 機能の強化、販売製品群の拡大等を図っていきます。

一方、グローバル展開の更なる推進は、本社マザー工場のものづくりの空洞化を伴います。その穴を埋めるべく、また、チェーンに代わる将来の収益源となる柱を確立すべく、新たな事業分野に挑戦し、新規事業の確立を目指します。

新たなステージに向けたこれら取組みを強力に推進するためには、その担い手となる人財の育成強化が急務となっています。優秀な人財の能力、モチベーションを最大限に活かすことにより、事業の各機能を強化し、常に発展しつづける企業体質づくりを進めます。

### II. 経営スローガン

『新たなステージへの変革』 ～Innovation to the next stage～

### III. 会社方針

#### 1. グローバル事業の更なる展開を図る

- ① グローバル化を積極的に展開し、新興国など世界の成長を取り込む
- ② 既存海外拠点の販売製品群の拡大
- ③ 2 輪・4 輪事業の海外生産の更なる拡大
- ④ 国内産機事業の強化と海外事業への展開

#### 2. 新規事業を創出する

- ① 新商品の開発（本社空洞化対策、事業領域の拡大）
- ② 自由な発想による新規分野の開拓
- ③ M & A、アライアンス、産学連携等による外部技術（事業）の取り込み
- ④ 既存技術伝承と独自技術による需要開拓

#### 3. 次世代を担う人財を育成する

- ① グローバル人財の育成及び強化
- ② 海外赴任、海外研修のしくみづくり
- ③ 人財の現地化推進

### IV. 数値目標

本計画最終年度となる 2014 年度において、連結売上高 500 億円、連結営業利益 40 億円（営業利益率 8%）の達成を目指します。

以 上